

事例から学ぶ

# 送迎業務の総合安全管理マネジメント

－ 運転手採用から移動介助・安全運行まで －

デイサービスやショートステイの送迎業務では、従来に無い多様な事故が発生しています。従来の自動車事故や移動介助中の転倒事故に加えて、「利用者の降ろし忘れ事故」「ドライバーの疾患が原因の事故」などが急増し、社会的にも大きな問題になっています。これらの送迎業務を巡る事故防止対策は、ドライバーの採用、安全運転教育、日常防止指導と併せて、緊急時対応など多岐に亘ります。本来であれば課題全てに対応するには、送迎業務のリスク対策に精通した専門の「総合安全管理者」が必要になります。本セミナーでは、送迎業務で発生した最近の事故事例から、その防止対策を解説します。まずは管理者の方に受講をお勧めします。

## セミナーの概要

### 1. 安全運転適性を重視した人材採用

【事例】なぜ送迎車が小学生をひき逃げ？

### 2. 採用時の安全運転教育

【事例】なぜか左方向の注意力が散漫なドライバー

### 3. 送迎時の移動介助中の転倒防止対策

【事例】居宅から送迎車の移動介助中に転倒骨折

【事例】お送り時に居宅の玄関で奥様に介助を任せ転倒

【事例】門から玄関まで車椅子が使えず歩かせて転倒

### 4. 送迎車からの降ろし忘れ事故

【事例】お迎えに行った利用者を降ろし忘れて熱中症で死亡

【事例】お送りする利用者を降ろし忘れて連れ帰り一晩放置

### 5. 送迎車運行中の事故の防止対策

【事例】1年前のヒヤリハットが活かされず今度は人身事故に

【事例】マンションの敷地内での軽い車両・物損事故

【事例】送迎車運行中に利用者が体調急変、救急搬送が遅れた

【事例】固定したはずの車椅子が発車時に後方に転倒

### 6. 高齢ドライバーの健康起因事故の対策

【事例】ドライバーの脳梗塞発作で同乗中の利用者が死亡

### 7. 送迎業務安全管理者設置のお勧め

#### 【事例】お送り送迎時に居宅の玄関で奥様に介助を任せ転倒

デイサービスの利用者Dさんは、移動は杖歩行ですが大変不安定なので職員が介助しています。ある日、介助員がDさんの手を引いて玄関まで歩いたところで、奥様(82歳)が玄関のドアを開けて「ここです」とDさんに手を差し伸べたため、介助員は「お願いします」と言って手を離しました。その直後にDさんがふらつき奥様が支えようとしたが転倒、大腿骨を骨折してしまいました。デイサービスは「奥様にお引渡した後のDさんの責任はない」と主張しています。 ここです

**検証のポイント**  
 デイサービスの送迎はどこまでお送りすれば、業務が終了するのでしょうか？

● デイサービスの送迎業務はどこからどこまでなのか？

デイサービスの送迎は送迎業務ではありませんから、人がある場所まで送り届けることはありません。送迎業務は「居宅とデイを安全に往復する」という移動業務なのです。



歩行が不安定な高齢者から、高歩行の介助員に「最後まで介助すべ

#### 【事例】マンションの敷地内での軽い車両・物損事故

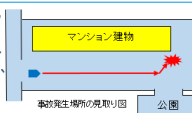
ある朝デイサービスの送迎車が、利用者を迎えに行きマンションの駐車場方向転換をしようとして、助手席左脇の高さ50センチくらいの金属の支柱に衝突してしまいました。車両は少し凹み支柱も曲がってしまいましたので、マンションの管理組合に届け、修理費を支払うことになりました。朝礼で事故報告があり、「今後は添乗員が降りて誘導しよう」ということになりました。小さな車両・物損事故ですが、再発防止策は正しいのでしょうか？

**検証のポイント**  
 車両・物損事故だけでなく人身事故がなかった場合、「大事に至らなくて良かった」と考えて良いか？

● 衝突したのがボールでなく幼児だったら

事故が起きた時、その原因や再発防止策を検討するのは良いことです。しかし、起きた事故の損害を前向きに検討するだけでなく、最悪のケースを想定して防止対策を検討することも重要です。

実際に起きた事故が、小損害の車両事故や物損事故の場合、損害が小さいことで安心してしまっ、再発防止策も軽く見てしまいます。しかし、マンションの駐車場は公園の入り口と至近距離ですから、3歳くらいの幼児が歩いてくるかもしれません。幼児と接触していたら、大事故になっていたかもしれません。幼児が居ることを前提に見直し、「添乗員が降りて確認する」という再発防止策では不十分かも知れません。



## 安全介護セミナー開催要領

- 開催日時: 12月5日 13:30~15:30 (11月28日締め切り)
- 主催: 株式会社安全な介護
- 講師: 株式会社安全な介護 代表 山田滋
- 受講料: 1施設・事業所 (PC3台まで) 5,500円 (税込)
- 受講方法: Zoomによるオンライン受講
- 提供資料: テキスト (手持ち資料) ・お役立ちツール
- 申し込み方法: 下記URLからお申し込みいただき、所定の口座に受講料をお振込みください。
- <http://tiny.cc/bibuwz>
- ※安全な介護の顧問先法人は無料ですので申込書にチェックしてください

### 講師プロフィール

山田 滋 早稲田大学法学部卒業と同時に現あいおいニッセイ同和損害保険入社。2006年7月よりインターリスク総研主席コンサルタント、2013年5月末あいおいニッセイ同和損保を退社。2014年4月より現職。高齢者施設や介護事業者と取り組み、現場で積み上げた実践に基づくリスクマネジメントの方法論は、「わかりやすく実践的」と好評。各種団体や施設の要請により年間150回のセミナーをこなす。

セミナーに関するお問い合わせは  
 株式会社安全な介護 受付担当 澤田  
 mail:soudan@nanasha.co.jp TEL:03-5995-2275